

# たがじょう

発行日／平成28年2月29日

発行／多賀城高等学校

PTA広報委員会

宮城県多賀城市

笠神2丁目17番1号

TEL 022-366-1225

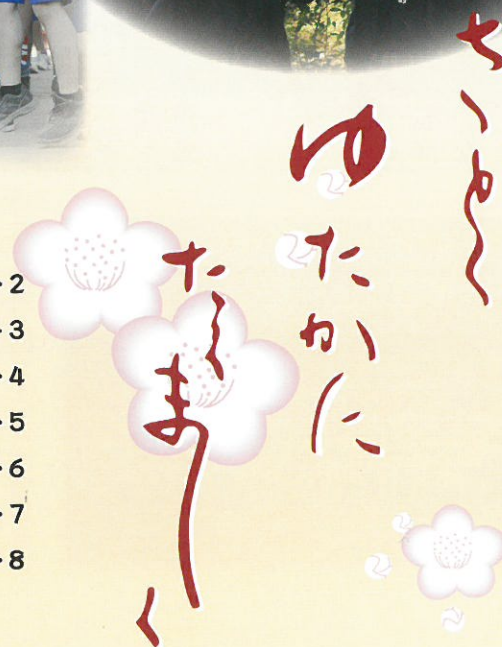
FAX 022-366-1226

印刷／株工陽社 塩竈市

TEL 022-365-1151



- 卒業に寄せて.....2
- 三年間の思い出.....2～3
- 多高祭、40周年記念式典 .....4
- 体育祭、芸術鑑賞会.....5
- 修学旅行、防災教育.....6
- 平成27年度進路情報 .....7
- 青春の1ページ、広報委員、編集後記.....8





## 卒業に寄せて

三学年委員長

菊池 弘美

三年間、不慣れながら学年委員長を務めさせて頂き、皆様との多大なる協力と先生方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

不安の表情で入試に挑み晴れて、多賀城高校に入学したあの日、これから始まる高校生活に夢と希望を持ち、新しい生活をスタートさせたことでしょう。

今卒業を迎えて、あの日見た夢、希望を叶えることはできたでしょうか。叶えるために三年間でどんなことをしましたか。そしてこれからは夢や希望ではなく、将来を現実にするためのスタートです。

多賀城高校での出逢いと経験を財産にして失敗を恐れずに何事にも挑戦してみてください。自分の思い通りにできないこともあると思いますが、そんな時は今までの出逢いと経験が財産となり解決できるかもしれません。



## 三年間の思い出

## 楽しかった三年間

三年一組 佐藤 光

私はこの多賀城高校で過ごした三年間の高校生活で数え切れないくらい沢山の思い出ができました。体育祭や文化祭などの学校行事や部活動はもちろんですが、友人と過ご

最後に、沢山の友達、先生、関わってくれたすべての方々の支援に感謝の気持ちを忘れず新しい世界へ羽ばたいて行ってください。

した何気ない一日一日がとても楽しくて充実していたことが嬉しく思います。

高校生活の一大イベントである修学旅行では、京都・大阪・奈良へ行きました。私は関西地方へ旅行に行くのは初めてだったので、とても楽しく三泊四日を過ごすことができました。沢山笑って、沢山食べてとても幸せでした。

高校生になり沢山の人の関わり、様々なことにも挑戦しましたが、全てが私の宝物です。本当に充実した三年間を過ごすことができ、友人や先生方に感謝の気持ちで一杯です。

## 三年間の思い出

三年二組 小野 ひかる

高校生活を振り返ってみると、色々なことがありました。その中で特に印象に残っているのは修学旅行と、三年生という立場での学校行事です。

修学旅行で常に友人と共に行動し、様々な場所を訪れたことは今も鮮明に思い出されます。長い移動時間も含め、充実した四日間でした。三年生ではどの行事も最後という言葉



## 楽しかった日々

三年三組 小野 果菜

この場所で過ごした三年間の毎日を思い返すと、どんな時も楽しく充実していました。特にこの一年間は中身の

葉と結ばれ、まだどれも最も楽しいものとなったと思います。特に文化祭では、部活やクラスにとらわれず、悪天候の中でもみんなで盛り上がる事ができました。文化祭で行った写真部初企画も成功させることが出来ました。三年間は実りのある毎日で、友人・先生方・部員、全ての人に感謝が絶えません。

濃い時間を過ごしてきたと思います。三年生となり、受験生として頭から勉強という二文字が離れない日々でした。時に、不安になることもありましたが、そんなときにクラス企画のLHRは良い息抜きとなりました。三年三組は、春には校庭でサッカーを行いました。試合中に、担任でサッカー部顧問の角田先生から、直接ご指導をいただく贅沢な待遇付きでした。その後も、全員でアイスを食べたりなどと、あの時間は私の青春のページになつていきます。それぞれの目標達成に向けて、仲間と団結しながら過ごしたこの三年間は、私の大切な宝物です。





## 私の三年間

三年四組 下山 斗来生



私の三年間の思い出は部活動です。私は硬式野球部に入部し、約二年三ヶ月野球に取り組んで来ました。同学年は六人のみでしたが、より濃密に苦楽を共有することができ、最高の仲間に出会えたと思います。また、部活に取り組むうえで最も苦しかったことは、冬場のトレーニングではなく、練習で培ったものを試合で発揮することができずチームに迷惑を掛けてしまったことです。なかなか結果を残すことが出来なかった私は代替とし

て声で部を盛り上げることに努めました。最後の大会は選手としてグラウンドに立てはしませんでした。自分の気持ちや声にのせて九人の選手に届けられました。様々なことを経験できた部活動に情熱を注ぎてきて良かったです。

## 高校生活

三年五組 野和田 陽菜

多賀城高校昇降口前の掲示板に自分の受験番号を見つけた日から、もう三年が経ち、卒業が近くなってきました。今だからこそ私は多賀城高校で高校生活を過ごせて良かったと感じています。この三年



間で最も印象に残っていることは、所属していた吹奏楽部でのことです。吹奏楽部の練習時間は多く、合宿やホール、本番近くの練習は特に大変でした。しかし日々の練習が多かった分、思い出もでき、演奏会や大会後の達成感はとても心に残るものとなりました。私はこの三年間を部活動を通して良いものにする事ができました。もう高校生活は終わってしまいましたが、多賀城高校でしかできなかった友人や先生方との思い出をこれからも大切にしていきたいです。

## 高校生

三年六組 阿部 小春

私は多賀城高校に入学して、一年生のときに思ったことがある。それは、大人の人は高校の三年間なんてあっという間だと言うけれど、三年って長い...ということだ。長い長いと思って日々過ごしてきた。そしたら、いつの間にか三年生になり、部活も引退し、受験も終わっていた。残すは卒業のみ、という状況で私が今思うことは、三年あつという間だったなということだ。今



## 充実した三年間

三年七組 清水 悠汰

になって思うと、年数の長い短いという感想は全てが終わってみないと分からないということ、私がつと大人になれば、高校での日々が一瞬の事のように感じるだろう。高校生活は辛くて楽しくて無気力で、ありきたりな日々だったが、私にとっては今後ずっと大切でかけがえのない思い出となるだろう。

一番の思い出は修学旅行です。友達との三泊四日で沢山の思い出を作ることができました。みんなと様々な所に行



き、色々なことをしたり、夜遅くまで起きていて遊んだり、とても楽しい時間でした。次に部活動では、ソフトテニス部に所属し、部長という立場で日々取り組みました。時には苦勞もあつたけれど、県大会に二度出場することができ、満足のいく結果を出すことができました。その他にも、球技大会や多高祭、体育祭などの行事が友達と笑って過ごした日々も大切な思い出です。三年間はあっという間で短く感じるけれど、凄く充実した三年間でした。多賀城高校に入学し、みんなと出会えて良かったです。



# 多高祭

## 多高祭を振り返って

### 多高祭実行委員長

三年二組 沼田 七海

今年は例年よりも少し早い開催となり、夏休み中に準備を始めたクラス・団体が多く見られました。私たち実行委員は、一日目の校内発表の企画を考えたり、模擬店出店のサポート、装飾・アーチの作成をしたりと大忙しでした。

私はステージ係として、男装・女装コンテスト「多高コレクション」と、腕相撲大会「剛腕選手権」の二つの企画を実施しました。意見がまとまらず苦労しましたが、試行錯誤を繰り返し本番は大成功でした。また、二日目はあいにくの雨模様でしたが、多くのお客様にご来場いただきまして、それをお迎えする多高生の笑顔は天候にも負けないくらい輝いていました。

普段はまじめに勉学に取り組む多高生ですが、行事のたびに意外な一面が見られ、本当に充実した二日間となりました。



## 多高創立40周年記念式典

10月17日、多賀城市文化センターで、本校創立40周年記念式典が行われ、宮城県教育委員会教育次長・鈴木洋様、多賀城市長・菊地健次様ほか、たくさんのご来賓の方々のご列席を賜り行われました。小泉博校長は式辞で、本校の歴史を振り返り、「繰り返しのきかない唯一回限りの人間教育において、生徒一人ひとりの十全な成長を図る」という当時の学校経営方針が、現在でも本校の教育の指針として受け継がれていることを述べました。また、生徒への言葉として、天台宗を開宗した最澄が僧侶の修行規則として記した「山家学生式」を紹介し、今後の学びを通して、それぞれの場所で自分の役割に徹して社会に貢献し、時に応じて自分の利益よりも他の人々の幸福を優先して考えることができるような「忘己利他」の心を育てて行ってください、との話がありました。また、生徒代表のことばとして、生徒会長の阿部拓人君が「21世紀を生きる私たちにとって、被災地の復興、そして被災した方々を勇気付けることは大きな使命であり、日々の生活の中で、真剣に学び、将来社会に貢献できる人間になることで、私はその使命を果たしていきたい」と話しました。



本校の発展に  
尽力された方  
へ感謝状の贈  
呈も行われま  
した。

小泉校長式辞





# 体育祭

## 体育祭を振り返って 体育祭実行委員長

三年三組 米澤 雅俊

今年の体育祭は、昨年のクラス全員が参加することのできる競技が欲しいという要望に応え、新たにバンブーリレーという競技を追加しました。初の試みということもあり、準備段階では実行委員皆で意見を出し、何度もシミュレーションしました。本番では試行錯誤した甲斐があり見事成功を収め、クラス全員が一致団結して全員が楽しむことのできるとても良い競技となりました。

今回の体育祭は、新たな競技を追加するなど戸惑うこともたくさんありました。しかし、一、二年生の実行委員や先生方のおかげで大きな問題も無く最高の体育祭となりました。私も実行委員長としてとても感謝しています。本当にありがとうございました！



## 多高創立40周年記念 芸術鑑賞会

図書委員会委員長 3年6組 木村 百花

最初に「尺八と三味線の演奏を聴く」と聞いたとき、どんな演奏を聴くことになるのかとても楽しみでした。普段私は様々な音楽を聴きますが、そのような演奏を聴く機会はなかなかないので、演奏のイメージが全くできませんでした。しかし、演奏が始まった瞬間、全身に鳥肌が立つような感覚があり、驚きました。

それからの2時間はあっという間に時間が過ぎて行っていました。お二人のオリジナル曲の他に、私たちが知っているような曲など、様々な演奏を聴くことができ、とても貴重な経験ができました。HIDE×HIDEのお二人、本当にありがとうございました！

10月17日式典に先立って、尺八と中棹三味線の和楽器ユニットHIDE×HIDE（ヒテ・ヒテ）によるコンサートが行われました。2つの和楽器にパーカッションとピアノを加えた構成で、迫力のある演奏に生徒も手拍子や声援を送り、客席と一体となった圧巻のパフォーマンスが繰り広げられました。





## 修学旅行を振り返って

修学旅行実行委員長

二年七組 瀬林 優士

皆さん、修学旅行を最高の思い出にすることが出来ましたか？

初日の朝から予想外のハプニングに見舞われ、一時はどうなるかと思いましたが、少しの予定変更で済んだので、ほんとに良かったです。また、カラオケ大会も想像以上に盛り上がりつつよかったです。

個人的には、念入りに計画していた班別研修が、自転車で行動したこともあり、京都を満喫できて、一番の思い出になりました。

またUSJでは、各々今以上にいろんな意味で親しくなれたんじゃないでしょうか。今回で多高の三大行事以外の大きい行事は受験を残すのみとなりました。

これからは今まで以上に勉強という存在が大きく感じられ、ストレスとなることがあっても、そんなことは今のうちだけで、来年度のクリスマスやお正月には勉強という彼・彼女と仲良く過ごしていくでしょう。

これが世に言つ、強制リア充化つてやつた。

また、修学旅行によって育まれたクラスごとの良さを、これから多方面に活かせるようにしていけば、より最高の修学旅行だったと言えるようになるんじゃないでしょうか。



修学旅行

## 防災教育

## 復興庁主催 新しい東北フォーラムin仙台

10月12日、せんだいメディアテークで「新しい東北フォーラム」が開催され、本校生徒会と防災委員の代表8名が参加してきました。東北では、震災復興に向けて様々な分野で震災前には見られなかった「新たな挑戦」が行われており、こうした挑戦に取り組んでいる様子や未来に向けたメッセージを表しました。本校からは、大学生・高校生によるワークショップ「ボランティア・ワールドカフェ」や「新たな挑戦リレートーク」に防災委員等の有志が参加し、活発な意見交換を行いました。

1年5組 佐藤 里紗

私が今まで参加してきた震災関係のディスカッションでは、大学生などの大人の方がいなかったもので、今回は大人の視点から考えを聞くことができました。「震災後すぐに前向きになれることができたか」という問いがありましたが、「あの震災から生きのびることができた私がすべきことは、前を向き自分の震災経験を語ることが大切だ」と考えました。今回の経験を教訓として後世につなげ、多くの人に広げてもらう二度とみんなが辛い思いをしないしてほしいと思います。その思いを一人一人が持てる様々な活動にこれからも取り組んでいきたいです。





平成27年度進路情報

進  
学

◆ A O 入試・推薦入試

AC・推薦入試出願者は、専門・各種学校で減少し、国公立・私立大学、私立短期大学、高等看護学校で増加しました。

国公立大学は三六名の出願に対し、合格者は一四名でした。国公立大学の公募制推薦は、地元国公立大学志望者の増加と推薦定員枠の少なさもあり、合格基準は高く、小論文（書き力）、面接（話す力）、学力試験・口頭試問（基礎学力）等で高い完成度が要求されます。一般入試をも念頭ににおいての準備のため、かなりの努力と時間を要することとなります。一、二年で基礎学力を高め、三年夏休みまでには志望理由をまとめるなどの準備が必要です。

合格者は五八名でした。合格率は、私立大学は七十二名の出願に対し、昨年を上回る八十一％でしたが、関東圏の大学では厳しい結果となりました。私立大学においては学部学科や地域を限定しなければ、容易に合格が可能になってきました。しかし、依然として看護や薬学、栄養系といった資格系統学部の志望者は多く、基礎学力試験を課す大学の増加もあり

## 進路決定(合格状況) (2月18日現在判明分延数)

	AO推薦	一般	計
国立大学	15	*	15
私立大学	58	277	335
私立短期大学	11	8	19
看護・医療系学校	5	9	14
専門・各種学校	16	6	22
公務員	—	8	8
民間就職	—	—	—
	105	308	413

## 学校別合格者数

公立大学・大学校	AO・推薦	一 般	計
宮城教育大学	1	*	1
宮城大 学	7	*	7
岩手大 学	3	*	3
秋田大 学	1	*	1
山形大 学	2	*	2
福島大 学	1	*	1

国公立大学発表 前期試験 3月1日～ 中期後期試験 3月20日～

		私	立	大	學	AO推薦	一	般	計
東	北	學	院	大	學	20	109	129	
東	北	學	院	大	學	4	—	4	
東	北	學	院	大	學	15	39	54	
宮	城	學	院	大	學	10	40	50	
仙	台	學	院	大	學	1	9	10	
東	北	工	業	大	學	1	14	15	
尚	綱	學	院	大	學	—	15	15	
石	卷	專	修	大	學	—	6	6	
仙	台	白	化	大	學	—	7	7	
東	北	文	學	大	學	2	12	14	
東	北	生	活	大	學	—	2	2	
東	北	芸	術	大	學	2	1	3	
酪	農	學	科	大	學	—	1	1	
東	京	農	業	大	學	1	—	1	
日	本	澤	大	學	學	1	2	3	
駒	京	經	濟	大	學	—	3	3	
獨	協	大	學	學	學	—	2	2	
專	修	大	學	學	學	—	1	1	
創	京	大	學	學	學	—	1	1	
校	大	學	學	學	學	—	1	1	
東	美	大	學	學	學	—	3	3	
東	京	聖	大	學	學	—	1	1	
東	京	工	大	學	學	—	1	1	
廣	島	修	道	大	學	—	1	1	
大	島	國	際	大	學	—	2	2	
広	島	城	大	學	學	1	—	1	
名	理	大	學	學	學	—	1	1	
天						58	277	335	

私立短期大学	AO・推薦	一	般	計
聖和学園短期大学	6	2		8
仙台青葉学院短期大学	5	6		11
	11	8		19

看護専門学校	AO・推薦	一 般	計
仙台医療センター附属看護助産学校	1	3	4
東北労災看護専門学校	—	1	1
仙台北徳看護専門学校	—	1	1
石巻赤十字看護専門学校	2	2	4
気仙沼市立病院附属看護専門学校	—	1	1
相馬看護専門学校	—	1	1
昭和大学医学部看護専門学校	1	—	1
杏林大学医学部附属看護専門学校	1	—	1
	5	9	14

専門・各種大学	AO・推薦	一	般	計
専門学校東北動物看護学院	1	—	1	
仙台保健福祉専門学校	2	1	3	
仙台ヘアメイク専門学校	1	—	1	
国際マルチビジネス専門学校	1	—	2	
中央医療技術専門学校	1	—	1	
仙台こども専門学校	1	1	2	
資生堂美容技術専門学校	1	—	1	
仙台医療秘書福祉専門学校	2	—	2	
仙台スイーツ&カフェ専門学校	1	—	1	
東北文化学園専門学校	1	—	1	
日本外国語専門学校	1	—	1	
宮城高等歯科衛生士学院	1	—	1	
仙台理容美容専門学校	—	1	1	
ヒューマンアカデミー仙台	—	1	1	
仙台大原簿記情報公務員専門学校	—	1	1	
仙台コミュニケーションアート専門学校	1	—	1	
亀田医療技術専門学校	—	1	1	
	16	6	22	

公務員	計
宮城県職員(学校事務)	1
塩釜市職員(事務)	1
利根町職員(事務)	1
国府台町職員(税務)	1
宮城県警察	1
自衛官	2
海上保安	1
	8

### ◆一般入試

學・理科に続き、英語、国語、地歴、公民が新課程入試に移行した。全国的な入試動向としては、前年度入試の文高理低（社会科学系の人気復活、理・農・葉系統の人気低下）地元志向、安全志向、資格系統下部、人気が継続しています。また、国公立大学では、教員養成課程や人文社

のくらの距離を決めます。日々の  
 実現までの距離を決めます。日々  
 授業、提出課題、定期考査、模試  
 験・・・目の前にあることとしつ  
 かり向き合うことが大切です。進路  
 実現に必要なことは、特別なこと  
 ではなく、日常のごく当たり前の小  
 さな積み重ねなのです。  
 現在、多くの三年生の生徒諸君が

挙と言つてもいいと思います。今年の公務員志望者は、外部の講習会に参加するなど、早い時期から試験対策を行つてきた人が多かつたようです。各教科・科目の学習を通して幅広い知識と学力を養成するとともに、教養試験の出題形式や適性検査に慣れることも必要です。学校の学習のほかに、公務員試験のた

間の好調さが公務員試験の競争緩和に影響していると考えられます。高卒者の場合、就職はできたとしても定着できずに早期に離職してしまふことが依然問題視されており、そのような本人の志望や適性と仕事のミスマッチが生じないように、適切な職業観を涵養していかなければいけません。

るといふ高いモチベーションを維持するために、志望大学は詳細に検討した上で決定することが必要となります。これまで述べてきたように、その準備には相当の努力と労力が必要となります。三八回生の生徒諸君も、入試直前まで面接練習、小論文指導、口頭試問の練習に懸命に取り組まれました。大切なのは、一般入試で合格できる学力を養いながら、一般入試の前に獲得できた貴重な受験機会に誠心誠意取り組むことです。

す日々の授業を理解し、教科書に  
るの学習内容を定着させることが大  
事です。定期考査直前だけの勉強方  
法では、その場しのぎの暗記に終わ  
り、実力の伸張は望みません。大  
入試で実力を発揮するためには、学  
校一年・二年からの長期的地道な  
努力が不可欠です。三年生になつて  
から準備を始めれば、では、受験  
期に実力のピークに達することはあ  
きません。センター試験は、七割が  
教科書から出題されるといわれてい

今年度の公務員志望者は、例年よりやや多めの十三名で、うち八名が一次・二次とも合格し、内定を得ることができました（のべ合格数は十四名）。公務員試験は一人で三〜五種類の試験を併願しますので、複数合格した生徒も何人かいました。民間就職が好調であるとは言え、まだまだ公務員は狭き門であることには違ひありません。これだけの合格数が

なく、公務員としてどのように社会に貢献していかたいかといったビジョンを明確に持って受験に臨むことが重要です。

【民間就職】

今年度の県内の就職状況は十二月末の時点で、九二・三％に達し、昨年度を一・五ポイント上回りました。現時点で本校では民間就職希望者は

入試の難易度も高い状況が続いています。国公立大学と同様に小論文対策や、学力に必要とされる教科・科目の基礎学力の養成を早期に始めることが必要といえます。私立短期大学や看護医療系を含めた専門・各種学校では、これまでも高い合格率率を維持することができました。

AO・推薦入試では、安易な進路選択ではなく、将来の目標に向けた長期的な展望を将来の目標に向けて示すことが望まれます。

社会科学系の再編の動きも志望者の動向に影響を与えることが予想されます。

今年度のセンター試験は、国公立大学で必要となる七科目受験者の文系・理系の全国平均点は昨年並みとなりました。本校では、一九六八年の三年生がセンター試験に挑みました。センターリサーチの結果を踏まえ、前期日程試験に五八名、中・後期日程試験に四八名が応募しました。

国公立大学の二次試験や私立大学の後期試験に向けて頑張っています。課外講習や教室で自学自習する姿、小論文の指導を受ける姿は真剣そのものです。合否の判明が卒業式後と、三月までの長丁場で大変苦しい時期を乗り越えなければなりません。最後まで諦めずに挑戦し、目指す志望校の合格を勝ち取ることを心より願っています。

めの学習も並行して行わなければなら  
りません。試験では二年生の後半か  
公務員模試が始まり、三年時には公  
務員講習も開講される予定です。仙  
台の専門学校等で開催される外部の  
講習やセミナーなども、受験のノウ  
ハウを身につけるには有効です。あ  
らゆる学習の機会を活用し、受験に  
向けて万全の準備を進めてください。  
また、面接試験では、志望の理由が

【公務員】

今年度の公務員志望者は、例年よりやや多めの十三名で、うち八名が一次・二次とも合格し、内定を得ることができました（のべ合格数は十四名）。公務員試験は一人で三、五種類の試験を併願するので、複数名合格した生徒も何人かいました。就職が好調であるとは言え、まだまだ公務員は狭き門であることには違いないありません。これだけの合格数が

【民間就職】

今年度の県内の就職状況は十二月末の時点で、九二・三％に達し、昨年度を一・五ポイント上回りました。



# 教諭 角田 淳

「青春の1ページ」という題で原稿依頼がきた。私の学生時代は人に言えたものではない。本当に洒落にならない。依頼者になぜ私なのか伺った。理由は最近のラグビー人気だそうだ。であればご希望通りラグビー部での1ページを書くことにしよう。

高校二年の五月、定期戦での話だ。私はベンチでその試合を見守っていた。相手は県内屈指の強豪。そのため前半から力の差を見せつけられる苦しい状況で、懸命に立ち向かうが時間経過と共に相手がトライを重ねた。しかも最悪なことに、バックスの中心選手（日本代表の五郎丸と同じポジション）の先輩が前半の途中に骨折で退場し、更にその数分後には同級生のフォワードの1番手の選手（日本代表の畠山と同じポジション）が同じく骨折で退場する始末。極めつけはキャプテンの先輩（日本代表のリーチと同じポジションと立場）までもが肩を脱臼してしまった。もはや万事休す。しかしその後、当時の私にとって信じられないことが目に飛び込んできた。何とキャプテンの先輩が脱臼して下がった腕をそのままに、頭からミサイルのように相手に突き刺さり反対の肩でタックルをしまくっていたのだ。最後の試合でも公式大会でもない、ただの定期戦である。しかも月末には高校最後の大切な総体があるにもかかわらず、自らの体を犠牲にしてチームのために体を張っているのである。私はその時初めてラグビーで闘う姿勢というものを教えられ、胸

が熱くなった。ハーフタイム、半年前からラグビーを始めた自分には何も出るはずもないのに、「先輩もう十分ですよ。俺が替わります。もう休んで下さい。」と申し出た。その言葉にキャプテンは、「そうか、ありがとう。じゃあもしダメになったら交替してくれ。お前みたいな後輩がいるってわかったらもう一頑張り出来そうだな気がしてきたよ。」と笑顔で応え、再びグラウンドに戻り、後半も相手に突き刺さり片



腕で猛獣のごとく掴みかかり続けた。数分後、反対の肩も上がらない状態（試合後の診断で両肩脱臼と骨折）になったキャプテンから、「替わってもらってもいいか。すまんな。頼むぞ。」と言われ、私はどんな相手にでも突き刺さりまくってやると覚悟を決めてグラウンドに猛然と飛び出していった。これが私の公式戦デビューであった。今では考えられない話である。しかも決して強くないチームの話だ。そしてこの話の中に大人は登場しない。こ

の後に病院に行くのも、帰宅するのも自分で。ましてや親がクレームをつける、訴えるなどもない。当時我々は部の活動を自己責任で行っていた。何事も自分たちで考え、話し合い、結論を出し、自分たちから先生方に交渉し、ダメなら修正し、自分たちで実行した。当然成功よりも失敗のほうが多かった。痛い目にもたくさんあった、でも嬉しいことや楽しいこともそれ以上にあった。それは部活動だけでなく、勉強、イベント、行事、遊び、恋愛など生活の様々なことにおいてもそうであった。自ら進んで行動し、その責任を自らが負っていた。それらの経験はその後の人生の基礎や糧、判断の材料となり、社会に出ても役立つ。高校に進学する気になった私ですら、最高の高校時代だったと思えている。それは最高の仲間達と最高の時間を自分たちで責任をもって共にしたからであろう。そこに親や教員の出る幕はほとんどなかった。あらためて当時の大人達は本当の「大人」だったと思う。しかし今は多くが違っている。何事も親や大人の意志や意向、監視、干渉、同伴、保護、承諾、等々が当たり前。教育現場はおろか、就職するときですら親の意向が大きき、保護者同伴で面接する会社も増えているとのことだ。どこか子供達が可哀想な気がしているのは私だけであろうか。今の子供達は将来、自らが青春の1ページを、強いて言えば己の人生を自らの意志で切り拓いてきたと胸を張れるようになるのであろうか。何とも言えぬ思いが年々深まっている。

## 編集後記

委員長を中心に、学年関係なく楽しく役員をしながら広報活動ができました。役員の皆さんと共に、体育祭などの行事に参加でき、有意義な時間を過ごせました。

ご協力いただいた先生方、保護者の皆様ありがとうございました。

<広報委員>

## 平成27年度の広報委員

- 1 学年 玉田 恵美・守谷 智子・笠原かおり  
石山美保子・佐藤 直美・阿部早智子  
太齋 洋子・丹野 京子・阿部 由美
- 2 学年 齋藤 美保・前田 美紀・阿部真喜子
- 3 学年 相馬真由美・齋藤 昌子・佐藤 弘恵  
佐々木ヒロミ・清水たみこ・日下 美江  
橋本 裕子

